

第1回超高速光エレクトロニクス研究会

テーマ：次世代を照らす超高速光技術の最前線

趣旨：超短パルスレーザーや光コムに代表される時空間を精密に制御する光技術は、フォトリソグラフィの応用領域を急速に拡大させています。本研究会では、超高速光エレクトロニクス研究会の新体制発足を記念し、委員を務める研究者による最新成果と将来展望をご紹介します。分野の最前線を俯瞰し、今後の技術と研究の方向性を共に構想する場として、皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2025年10月7日（火）13:00-18:00

場所：理化学研究所 和光地区 研究交流棟 W319-321（ハイブリッド開催）

研究会参加費：3,000円（UFO委員・現地参加）、2,000円（UFO委員・オンライン）、
2,000円（一般・現地・オンライン）、無料（学生）

意見交換会：4,000円

申込サイト：https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeHr9QWRD2gA2KWNEAojBkp_9dZdI0MuILuWXDEZLPePgqcEw/viewform

申込期限：9月19日

プログラム（敬称略）

13:00-13:05 開会挨拶 小関 泰之（東京大学、UFO研委員長）

13:05-13:40 〔招待講演〕田邊 孝純（慶應義塾大学）

「微小光共振器による光周波数コム光源の応用展開」

13:40-14:15 〔招待講演〕柏木 謙（産総研）

「高繰り返し光コムの精密分光への展開」

14:15-14:50 〔招待講演〕吉井 一倫（龍谷大学）

「広帯域ハーモニクス光の全同軸振幅位相操作」

（休憩）

15:00-15:35 〔招待講演〕小関 泰之（東京大学、UFO研委員長）

「超高速光エレクトロニクスを用いるラマン顕微鏡」

15:35-16:10 〔招待講演〕井手口 拓郎（東京大学）

「赤外分光・顕微鏡技術の新展開」

16:10-16:45 〔招待講演〕神田 夏輝（理研）

「マルチテラヘルツ周波数帯の偏光波形整形」

16:45-17:20 〔招待講演〕石井 順久（量研）

「高出力赤外光源開発とそれを用いた水の窓を超える
軟X線高次高調波発生」

17:20-17:30 閉会挨拶 小関 泰之（東京大学、UFO研委員長）

17:30-18:00 ラボツアー（予定）

18:00-19:00 意見交換会

問い合わせ先：吉井 一倫（龍谷大学）<yoshii@rins.ryukoku.ac.jp>